

令和5年度 嬉野市表彰 受賞者名簿 (敬称略)

	氏名	功労部門	功労の概要
1	くまき たかし 國政 隆	教育文化	石垣区の味島神社に奉納する五穀豊穡祈願の浮立（笛）指導者として、幅広い年代に対する指導を約30年間の長きにわたり続けられ、地域のよき相談役としても信頼を受けられている。令和2年以降の新型コロナウイルス禍の時期にあっても、郷土の伝統芸能伝承のため、絶やすことなく活動を続けられており、現在でも積極的に活動に参加されている。
2	おの もとむ 小野 求	教育文化	吉田地区の振興を目的とした「活き生き吉田会」の結成を地元住民に提唱し、平成19年の発足当時から現在に至るまで、その会長を務められている。活き生き吉田会は、百年桜まつりの開催や、秋の収穫祭での地場産品の販売といった地元振興の事業などのほか、稚魚放流、フラワー大作戦、子ども夢会議といった、地域ぐるみの子育て事業を行っており、素直で礼儀正しい吉田っ子の育成に果たした役割は、特に大きいものとなっている。
3	たなか よしのり 田中 良徳	地方自治 社会事業	平成13年から平成17年までの1期4年間で塩田町議会議員として、平成23年から2期の4年間で嬉野市行政嘱託員として、平成31年から2年間で美野辺田区公民館長として、それぞれ務められ、地方自治の推進のために尽力された。特に、議員時代には合併特別委員会委員として合併実現のために奔走され、公民館長時代には公民館の屋根の大規模改修を計画・実施し、寄付の呼びかけの傍ら、市の補助金を活用するなど、住民の負担軽減に努められた。
4	そえじま みちお 副嶋 道雄	人命救助・防犯等	62歳の頃から現在までの約20年間の長きにわたり、内野内野山区内の交差点において、登校時間の子どもたちに対する交通安全指導と見守りのボランティアを続けられており、交通事故の未然防止と、子どもたちの交通安全に対する意識とマナーの向上に多大な貢献をされている。
5	とす やすこ 鳥巢 ヤス子	保健衛生	平成元年から現在まで、旧塩田町及び嬉野市の食生活改善推進協議会会員として長きにわたり食生活改善活動を通じた保健衛生に貢献されており、理事を務められている。「健康づくり我が家の食卓コンクール」に数多くの出品をされており、理事を務められた平成13年の時期には、全国入賞されている。現在も食生活改善推進協議会会員として活動する傍ら、老人クラブの会員として、高齢者の健康づくりと自立支援に尽力されている。
6	よしむら よしこ 吉村 良子	保健衛生	平成3年から現在まで、旧塩田町及び嬉野市の食生活改善推進協議会会員として長きにわたり食生活改善活動を通じた保健衛生に貢献されており、平成15年から現在に至るまで、理事として食生活改善推進協議会の運営に携わられている。食育に関する造詣が深く、食材の栄養やレシピなどの知識の伝承のほか、新しい野菜を自家栽培してその調理方法を研究し、収穫した野菜や苗を配るなど、協議会活動の充実に貢献されている。
7	いけだ しょうご 池田 正吾	産業振興	昭和49年に野菜茶業試験場を卒業後、西九州茶業流通センター、嬉野農業協同組合、旧嬉野町役場への出向などを経ながら、生涯、茶の栽培、荒茶の生産技術の研究・指導などを通じた生産農家の経営安定に尽力し、夢のある産業としての嬉野茶生産振興に邁進された。また、嬉野町相撲連盟の役員として、子ども相撲の指導を通じた青少年育成にも貢献された。令和4年12月22日逝去。享年69。
8	たなか やすのり 田中 康法	社会事業	平成22年から嬉野市の民生委員・児童委員として4期12年を務められ、定例会や福祉の大会や研修会にも率先して参加するなど、他の委員からの信望も厚い活動ぶりで地域の社会事業の向上に貢献された。
9	みやた みさこ 宮田 三佐子	社会事業	平成19年から嬉野市の民生委員・児童委員として5期15年を務められ、特に令和元年からは嬉野町の民生委員児童委員協議会副会長を務め、会のとりのりまとめを行うとともに後輩民生委員・児童委員の良き相談役になるなど、他の委員からの信望も厚い活動ぶりで地域の社会事業の向上に貢献された。